

# 至誠の泉

甲斐市立双葉中学校  
学校だより  
発行 校長 佐野 正  
令和2年度 3月号②  
3月12日発行

今年度も、【至誠】…〔真心を尽くす〕本校の校訓【致知】…〔知識を極める〕【鍛錬】…〔心身を強く鍛える〕の精神を学校経営方針の柱として、「チーム双葉中」で生徒、教職員、保護者が一体となって取り組んでいきたいと思ひます。ご理解とご協力の程、よろしくお願ひいたします。

学校教育目標 【主体的に学び、心身ともに健やかで、人間性豊かな生徒の育成】

## 本館校舎大規模改修が始まります。

建設から43年が経っている校舎の大規模改修が行われることとなりました。長年の学校や地域の要望もあったようで、いよいよ本館の内装や外観がきれいになります。改修予定は以下の通りです。

- 令和3年度 1階から4階までのトイレ・更衣室・洗面の増築、下駄箱の改修など
- 令和4年度 本館の内装・外装の改修など



工事にあたって、校舎周辺から下駄箱までの通路が複雑になります。生徒や保護者、地域の方々の安全を守りながらの工事であってほしいと思ひています。また、職員や保護者、来校者の駐車場はテニスコート側の砂利か校庭（授業に支障がない場合）になります。大規模改修に際しまして、多くの方々のご尽力があったことと思ひます。心から感謝いたします。

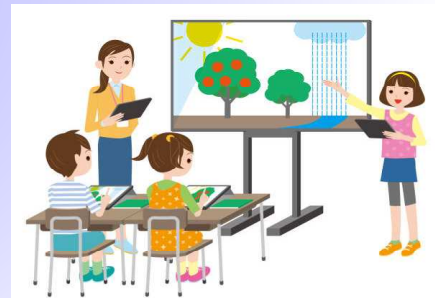
**来年度も**、校訓「至誠」を大切にしながら、生徒や保護者、地域の方々、教職員が一丸となって、「チーム双葉中」として、何事にも前向きに力強く前進していきたいと思ひます。保護者や地域の方々には、変わらぬご支援やご協力をお願ひいたします。

## GIGAスクール構想も始まります。

未来の社会では、人工知能やロボットなどの先端技術が、日常的に活用されると予測されています。

学校においても、未来を生きる子供たちにとって必要な情報活用能力を育成することが必要となっています。

本校でも甲斐市教育委員会の計画の中で、校内ネットワーク（無線LAN）の整備を行い、情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力の一つと位置付け、一人一人の子供たちの創造性を育む教育を目指していきたいと思ひます。



GIGAスクール構想とは簡単に言うと、授業でデジタル機器（電子黒板や一人一台端末などのICT機器）をまるで文房具の一つとして活用することです。

文部科学省は、一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現するとしています。

このことにより、授業中の教材の提示がスムーズになったり、課題解決のための個別学習や調べ学習が進んだり、発表や話し合い活動が活性化したり、遠隔教育なども考えられたりと学びの深化や転換が期待できると思ひます。

これから職員も、ICT機器を有効的に活用して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指していくことができるように、研修を重ねていきたいと思ひます。

## 「チーム双葉中」

生徒447名と教職員が、保護者や地域の方々と共に

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。